

にしくによしよこあなぐん
市原市 西国吉横穴群

遺体を納める場所が、入口よりも高い位置にある横穴墓の形式を「高壇式」(こうだんしき)と呼び、市原市から長生地域にかけて集中しています。西国吉横穴群は高壇式横穴墓の典型的な例で、現在までに 12 基の横穴墓が見つかっています。

横穴墓に埋葬されたのは一人ではなく、一つの墓に遺体を追加していく「追葬」(ついそう)が行われていました。



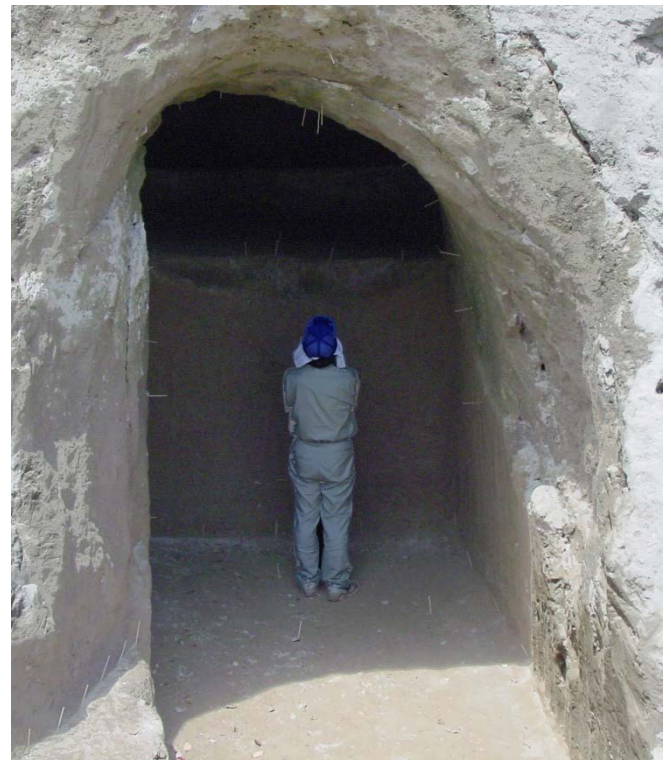
3 基の横穴墓



発掘調査風景



測量風景



高壇部分…高さ 2m 程度

人が立っている場所が羨道(せんどう)、壁のように見える場所の奥が、遺体を納めた玄室(げんしつ)です。



玄室(げんしつ)

羨道から玄室を見上げると、天井に
工具で削られた痕跡が見られます。
突当りは奥壁(おくへき)です。



棺座(かんだ)

玄室の床を掘り窪め、遺体を納めました。



羨道部分の遺物出土状況